

新規就農先輩の軌跡 No. 140

〈2021 (R3) 6月掲載〉

<p>新規就農者の素顔</p>  <p>氏名：荒木 奈見 住所：養父市長野 1297 年齢：44 歳</p>  <div data-bbox="502 837 764 947" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>実際に生産、販売 しているいちご</p> </div>	<p>農業経営の状況（現在）</p> <p>栽培品目：いちご 農 地：32a（借地 12a） 施 設：ビニールハウス 3196 m²（棟） 経営内容：いちご 32a 労働力：本人、息子 出荷先：いちご狩り、スーパー 農園内直売、ネット販売</p>  <div data-bbox="967 1016 1286 1077" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>いちごの葉かきの様子</p> </div>
<p>就農から現在まで</p>	<p>就農して良かった点、苦労した点</p>
<p>2001年 離職、出産、育児 2003年 営農組合で開園、手伝う 2004年 法人化、就農 2007年 ハウスを増設（4→7棟） 2016年 加工品の販売を始める 2018年 認定農業者に認定 2021年 現在に至る</p>	<p>○良かった点、嬉しかったこと 自分が育てたいちごをお客様が美味しく食べていただいている様子を見ることが出来る。息子が農業に興味を持ち、手伝ってくれる。</p> <p>○苦労した点 病害虫の対策が大変。台風でハウスが被害にあい、再建に苦労した。</p>
<p>農業をめざした動機・きっかけ</p>	<p>後輩へ贈る言葉</p>
<p>結婚を機に夫の地元である養父市に移住。夫の父が代表を務める営農組合で、いちごの栽培を手伝ったことをきっかけに、いちごの栽培を始めた。</p>	<p>養父市では若手女性農業者も多く、楽しく情報交換しています。仲間との交流を通して互いに切磋琢磨してください。</p>